

社会福祉法人 慈愛園

慈愛園子供ホーム 園長 緒方 健一

1. 全般的な施設運営について

平成 26 年度は、当園の基本方針、養護理念を明確にし、組織基盤の充実を図り、課題となっていたマニュアル作成、ケアの標準化を目標にしてきた。しかしながら現状は多難な一年であった。新任職員が6月で2名退職、併せて個人的理由により1名が退職する結果になり、2件目の小規模ユニットケアを開始したものの、職員配置や子どもたちのケアなど施設運営に大きな影響を残した。特に多忙な夏季期間には職員に多大な負担をかけてしまったことが、反省としてあげられる。

下半期には、上半期の組織運営についての反省を踏まえ、組織としての秩序の維持と強化や新任職員の養成を含めた職員研修のあり方、あわせて当園が目指す中長期計画に基づき、28年度に地域小規模児童養護施設の開設を視野に入れての、本体における小規模グループケアの対象児童とスタッフの配置等、ホーム編成について職員間で協議を重ねながら、一定の方向性を明らかにしてきた。

平成 25 年度に行った第三者評価で指摘された業務の標準化については、昨年度に続き今年度も継続課題として取り組む計画である。

また、26年度から里親支援専門相談員を設置することができた。里親支援業務と平行し、これまでの経験を活かし施設管理運営と職員へのスーパーバイザーとして配置している。

2. 中長期計画について

2件目の小規模グループケアであるエカードホームを開設するも、職員退職により、子どもたちの支援にも影響を与えたことは否めず、急遽職員の入れ替え、臨時職員採用、男性職員の強化を実施し、職員たちの努力によって何とか乗り越えることが出来た。次年度開設予定の地域小規模児童養護施設については、法人事務局と連携を取りながら、物件探しをすることになった。

3 支援状況について

- (1) ケアワーク職員、各専門職員連携のもと、児童とホーム職員との人間関係の強化を目指し、個別対応に重点を置き、県及び市の児童相談所とも連携をはかり、親子関係の強化、改善を図って来た。しかしながら、今年度は3名の児童を家庭復帰につなげたのみであった。また、里親支援専門相談員が配置され、年度末に1名本園より、里親への措置変更が行われた。一方、26年度は3名の高校中退があった。様々な課題を残しつつも、いずれも県外に就職させた。アフターケアで就労支援を継続している出身者が1名おり、対応に苦慮している。高校卒業後5名が進路が確定した。アフターケアで引き続き支援を継続していく。

- (2) 小規模グループケアの2軒目を増設した。今後の当園の中長期計画を明確にし、職員間で協議を図り、勤務内容の改善を進めてきた。職員配置基準が改定され、ホーム支援の充実が図られることになった。
- (3) 職員、児童の夜間の安全確保、また児童の通信手段としてのホーム携帯を活用、情報の共有化を図り、携帯使用についての児童の訓練としても活用が出来た。
- (4) 地域の各種団体と連携し、地域福祉向上と地域と園との有機的な交流のための具体的な行事を計画し、地域福祉に寄与した。(校区独居老人昼食会、校区おせち宅配、シルバー独身者ひなまつり会、砂取まつり等)、さらに校区の地域福祉ネットワーク「ほっとネット砂取；年4回開催」への参画を行った。
- (5) 児童と職員との交流や社会性の涵養のために、月ごとに様々な行事等を取り入れ、児童と職員との信頼関係を強化した。併せて長期休暇等に家庭生活体験事業を行い、家庭生活の経験の少ない児童に対して、里親宅、職員宅への外泊体験を実施。
*利用児童 (延べ27名47泊)
- (6) 家庭復帰支援と保護者との関係強化のため、児童相談所の意見も聞きつつ、家庭と園で協力、情報共有と支援に力を入れ、面会、外出、外泊の向上をはかった。(別紙報告書)、ただし、26年度は、3例に止まり、うち一件は、強制的な引取であった。
- (7) ボランティアとの連携を密にして、ボランティアの確保を図り、入所児童の成長と人間関係の拡大を図るとともに、児童の社会性の向上を図った。
- (8) 小学4年生以上の児童に対して、夏休みに外部教育専門家による性教育を実施し、正しい性教育に力を入れた。また、高校を卒業して自立する児童に対してのリービングケアを実施し、その一部に性教育を加え、社会的なスキルを高めていくための支援を行った。
- (9) 子どもたちの学習指導、進学について。中3の児童4名が学習塾を活用して、国公立高校に2名、私立高校に2名合格することができた。現職教員のボランティア、昨年度から小学生・中学生にNPO法人による学習指導が開始された。
- (10) 県内外から、今年も多くの方々が、見学・研修・実習に来園。社会的養護への認知を高めると共に、福祉教育や後継者育成について貢献することができた。
- (11) 6年間にわたり、職員・児童に「CAPワークショップ」を実施し、幼児から中3までの子どもと、それを支援する職員のエンパワメントを行い、権利意識の向上と暴力防止、予防を目指した。今年度、様々な課題も見えてきた。
- (12) 児童の健全育成と社会性の涵養のため、小学4年生以上には入部を奨励してきた(希望者)。部活希望者の大部分が希望する部活で年度末まで元気に取り組むことができた。(入部者は合計 24名)

(13) 苦情解決第三者委員及びサービス向上委員として3名の外部委員を定め、年4回の会議を持つと同時に、園内環境、ホーム支援への意見具申をお願いした。苦情受付については、子どもからの意見箱によるものが多く、その都度対応はされているものの、まだまだ子どもの意向、意見をとらえきれていない状況もうかがわれた。

(14) 子育て短期支援事業等

*ショートステイ (31名 88泊)

*トワイライト：夜間1名、休日2名)

*里親レスパイトケア (0名)

(15) 就職自立のために

自立に困難を抱える児童の支援について、アフターケア準備委員会を設け、インケアからリービングケア、そしてアフターケアに至るまでの課題を明確にし、就職自立の児童のためのリービングケアを実施した。子ども個々の発達課題に応じて、進路先の開拓にも力を入れてきた。また、アフターケアとしての試みとして、卒園者に連絡先入りのカレンダーを提供。一定期間の心理的支援にも心がけて行くことになった。

(16) 職員への支援

職員の養成と定着は、児童養護施設の将来にとって重要な課題である。昨年度当初に新任職員が相次いで退職をするという状況にあり、スーパービジョンの必要性を痛感し、SVに対応を依頼した。

新任職員については、ホームのチーフをはじめとする職員によるOJTによる研修が不可欠であり、新年度に向けて計画を作成した。支援の標準化にあわせて各ホームの支援内容を統一し、職員の支援に対する迷いをなくし、新人教育については統一したやり方を提示して行うようにし、入職後2ヶ月間はホームチーフと同じ勤務を行うという計画を立てた。

(17) 広報誌「きっず」の発行。

広報誌きっず Vol. 40、41 を発刊。乳児ホーム、子供ホームの情報を発信した。事業計画や、子どもたちの支援、季節の行事や訪問、招待などを掲載し、当園の社会的理解に役立っている。

平成 26 年度

年 間 行 事 実 施 表

慈愛園子供ホーム

| 月 | 教育 | 施 設 | 地 域 活 動 | 職 員 研 修 ・ 交 流 |
|----|----|--|--|---|
| 4 | | 1:辞令交付式 3:進級式・バーベキュー 27:実習オリエンテーション(前期) 30:中学校連絡会(家庭訪問) | | 21:法人新任研修 24~25 指導員会総会 |
| 5 | | 1:小学校連絡会(家庭訪問) 3:ダルマの杯スポーツ大会 14~20:ワンパク絵画展 27:神水幼稚園交流会 | 10:子ども会お見知り会 地域各種団体総会 26:校区社協総会 | :給食担当者会総会 17:行政・施設親善バレーボール大会 21~23 施設合同キャンプ 現任訓練 |
| 6 | 学 | 16:慈愛園総合防災訓練 | 8:ほっとネット砂取 | 10~12:九州ブロック研修会(佐賀) 3:保育士会総会 28:指導員会例会(児相) |
| 7 | 校 | 6:七夕まつり 10:合同キャンプ事前作業 22:球技大会 24~27:施設合同キャンプ | | |
| 8 | 幼 | 5~7 熊本市・県児相訪問調査 7~8:サマーキャンプ 7:東南 RC 交流会 11~17 夏期 HV 19~21 球技大会九州大会(熊本) 24:性教育 30:おやつパーティ | 2:神水盆踊り 25~26:スカウト隊キャンプ | 26~27 ルーテル社会福祉協議会 |
| 9 | 園 | 23:遊友小子老デー(運動会) | 12:ほっとネット砂取 | 8~10:西日本セミナー研修(岡山) 13~14CSP 幼児研修 |
| 10 | の | 11:秋季スポーツ大会 26:教会子ども祝福式&慈愛園カンデー | 17:ふれあい昼食会 26:町内秋の一斉清掃 | 15~16:給食担当者秋季研修会 18:保育士・指導員合同研修会 25:職員親善ソフトボール大会 28~30:全国養護施設長研修会 |
| 11 | 行 | 1:ピュアデンタル CVo. 7:フィリップモリス Vo. 16:ダスキン熊本 Vo. | 23:江津湖あるいとランド (青少協) | 1~2 九州地区里親研修大会 8~9:SBI 研修 10~11:養護協議会中級現任訓練 12~13:保育士会研修会 12~13:書記会秋季研修会 18~21:子どもの虹研修 |
| 12 | 事 | 13:きつぱクリスマス 23:クリスマス祝会 26:県、市他慰問、大掃除 27:もちつき 29~1/4:冬期 HV | 6:子ども会クリスマス 12:ほっとネット砂取 25:スカウトクリスマス 31:シルバーおせち宅配 | 4~5:社会的養護を担う施設長研修 |
| 1 | に | 1:正月祝膳 2:卒園者新年会 2~3:市内外出買物 5:11. 3/23:CAP ワークショップ 11:どんどや招待 | 11:消防出初式 24:青少協親子でアウトドアチャレンジ 24:砂取会 | :県養協性教育研修会 13~15:全国中堅職員研修会 |
| 2 | 順 | 11:表現祭 14:モト・ハラス先生愛献の集い 8:法律講習会(県養協:司法書士会) 18:高 3 壮行試合 | 1:子ども会お別れ会 27:シルバーひなまつり | 1:職員親善ボウリング大会 6:養護協議会研修会 21:指導員会研修会 |
| 3 | 応 | 15:卒園式 26:大掃除 | 8:砂取まつり 13:ほっとネット砂取 | 9~10 県養協施設長会 |
| | す | | | |
| | る | | | |